

各関係機関の長  
各病虫害防除員 殿

宮崎県病虫害防除・肥料検査センター所長

## 病虫害防除情報第 5 号

ハスモンヨトウの発生状況についてとりまとめましたのでお知らせします。  
各地域の発生状況を把握しながら適切な防除指導をお願いします。

**県内各地のフェロモントラップで、ハスモンヨトウの誘殺数が増加しています。**

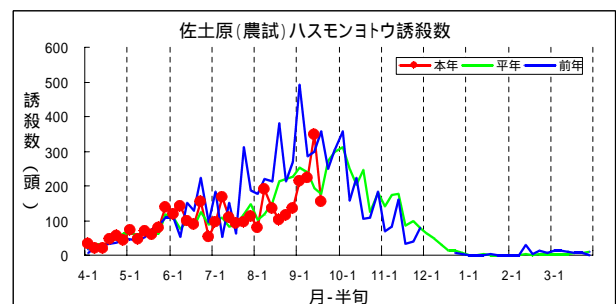
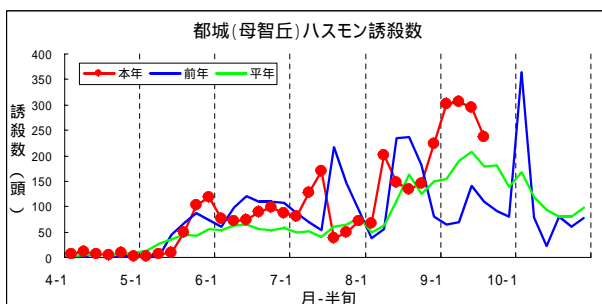
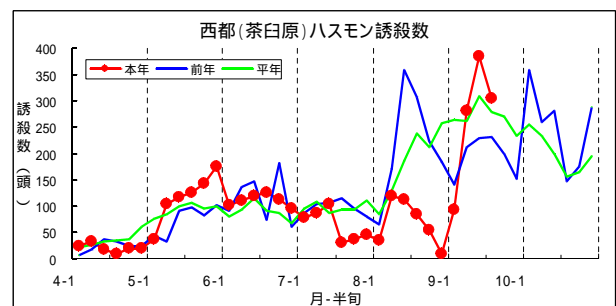
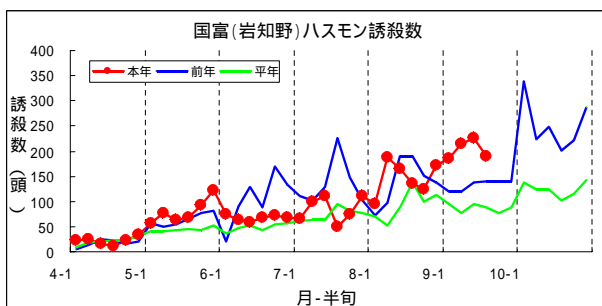
**今後、大豆、野菜・花き類で被害が予想されますので、適期防除に努めてください。**

1 作物名 大豆、野菜・花き類全般

2 病虫害名 ハスモンヨトウ

### 3 発生状況（経過）

- 1) 県内 4 か所（国富、西都、都城、佐土原）に設置しているフェロモントラップへの誘殺が 8 月下旬以降急増している（図）。9 月第 1 半旬から第 4 半旬までの合計誘殺数は、国富で 814 頭（353 頭）、西都で 1,064 頭（平年 1,112 頭）、都城で 1,035 頭（平年 728 頭）、佐土原で 937 頭（平年 863 頭）であり、3 か所で平年を上回っている。
- 2) 9 月に実施したダイズの巡回調査においては、白変葉の発生圃場率は、30.0%（平年 0%）、発生か所数 0.5 か所（平年 0 か所）と高くなっている。
- 3) 向こう 1 か月の気温は、高い確率 50% と予想されており（1 か月予報 鹿児島地方気象台 9 月 17 日発表）、本種の発生に好適な気象条件である。



#### 4 防除上の注意

- 1) ほ場ごとに発生が異なるため、定期的にはほ場を見回り、早期発見に努める。一度防除したほ場でも、成虫が飛来して産卵するので、引き続き発生に注意する。
- 2) 防除適期は、卵塊が葉裏に産卵され、孵化した若齢幼虫が集団となって食害する時期（白変葉期）である。周囲に分散した中・老齢幼虫は、薬剤の効果が低下する。
- 3) 施設栽培では、開口部に防虫ネットを設置し成虫の侵入を防ぐ。なお、成虫はネット上などにも産卵し、編み目から孵化幼虫が施設内に侵入するので注意する。
- 4) 次期作付に当たっては、育苗期から防除を徹底し、本ほハウスには防虫ネットを必ず設置し、害虫の侵入を防止する。
- 5) 同一系統薬剤の連用を避け、作用性の異なる系統薬剤とのロ - テ - ション散布に努める
- 6) その他詳細については、病虫害防除・肥料検査センター、総合農業試験場生物環境部、各支庁・農林振興局（農業改良普及センター）等関係機関に照会する。

《連絡先》病虫害防除・肥料検査センター 壹岐  
TEL : 0985-73-6670 Fax : 0985-73-7499  
ホームページ : <http://www.jppn.ne.jp/miyazaki>  
E-mail : [byogaichu-hiryo@pref.miyazaki.lg.jp](mailto:byogaichu-hiryo@pref.miyazaki.lg.jp)